「総合的な探究の時間　成瀬 BB!プロジェクト」

令和４年３月

最終報告！　２年生（43 期）「自己とつなげる『マイプロジェクト』

43期　ゼミ名		
心理①②③	教育	アニメ･ゲーム
サイエンス	社会学	生物
スポーツ	流行①	現代社会
芸術	流行②	食文化

４３期生の「問い」は、コロナ禍を反映したものも見られます。また、自分達の住む地域活性を願う「問い」、身近な疑問を追求する「問い」、海外に目を向けた「問い」、自分達の部活動で生まれた「問い」、高校生活の中で生まれた「問い」、社会に目を向けた「問い」など実に様々な「問い」が生まれました！

３月９日（水） New!

「成果発表会」２年生の発表を１年生、卒業生、教員が自由に聞き、質疑応答を行い、フィードバックを受ける！

昨年度、コロナ禍で実施できなかった全体での成果発表会。当日は体育館と３年生教室を使い、２年生が２５分間の個人発表を実施しました。8 枚のスライドをポスター掲示し、１人が参加者に何度も発表を行いました。工夫を凝らした発表もあり、英語で発表する生徒、見学者に声を掛けながら発表を進める生徒、楽器の演奏をする生徒などが見られました。１年生は密を避け、交代で発表を見学しました。助成を受けている「三菱みらい育成財団」からも発表の見学に来て下さいました。

チームで活動した昨年度から、今年度は個人での探究活動となりました。また、テーマ（問い）が用意されていた昨年度とは違い、今年度は自分で設定しなければならないという点も昨年度と大きく異なる点でした。コロナ禍で授業数が減る中で、１年次での探究活動の経験を踏まえ、試行錯誤を繰り返しながら、最終的には全員がスライドを提出し成果発表会を迎えることができました。

３年生となる次年度は「フューチャープロジェクト」となります。今回の発表会で他の生徒から提出された「フィードバックシート」を参考にして追加の探究活動を行いながら、今年度の探究活動を基に論文を作成します。３年間の探究活動の集大成となるので、今年度の探究活動をしっかりブラッシュアップして、さらに質の高い論文を作成してほしいと思います。

探究研修部　浅沼善宣

12 月 17 日（金）

探究 Day!

1 限～4 限まで、全て探究活動でした。今後の活動について説明を受けたり、自分の探究活動を進めたりしました。十分な時間があったので、担当教員との相談や文献調査等の活動にじっくり時間を使うことができました。いよいよ最終段階に入っていきます。これまで誰も見たことがない結論がたくさん出てくることを願います！

12 月 4 日（金）

探究研修部主任（浅沼）、「探究フォーラム」にて発表を行う。

2 学期末考査二日目、国立オリンピック記念青少年総合センターにて「令和 3 年度探究フォーラム」が開催され、本校探究研修部主任（浅沼）が発表を行いました。全体会（講演：「総合的な探究の時間帯における探究的な学びの一層に充実に向けて」独立行政法人教職員支援機構　理事長　荒瀬克己先生）の後に分科会に分かれ、11 校の都立高等学校・中等教育学校が各会場で発表を行いました。成瀬高校の発表では「プロジェクト全体像」「運営体制」「活動の変遷」「大切にしていること」「今後の挑戦」などについてありのままを示し、他校の先生方にも興味関心を持っていただくことができました。また、先進的な取り組み、地域の特性を生かした特徴のある取り組みなど、実に多くの他校の実践を聞くことができ、大変有意義なフォーラム参加となりました。今回の探究フォーラムの情報は校内でも共有し、「成瀬 BB！プロジェクト」を一層推進するエネルギーとしたいと思っています。

11 月 28 日（日）

「令和 3 年度　東京サイエンスフェア」へ 2 年生 2 名が参加する。

昨年度　1 年生での「アリ」プロジェクトを継続していた 2 年生女子生徒が「東京サイエンスフェア」へ参加し、ポスター発表を行いました！

11 月 19 日（金）

中間発表、ハンドブック提出。ここまでの経過を振り返る。

進行も全て生徒が実施しました。1 班 4 名～5 名に分かれ、自分の問い、仮設、検証方法、調査結果などを 5 分間で披露した後、質疑応答を受けました。また、互いの調査についてアドバイスしあったり悩みを共有する姿があり、生徒同士で問いを深めあっている姿に感銘を受けました。

10 月 29 日（金）

3 年生よりアドバイスを受ける。

2 年生のうちにやっておいた方がよいこと、反省などもふくめて、7 名の 3 年生より貴重なアドバイスを受けました。少しでも関係のある情報を集めておくこと、無駄なことはひとつもないこと。真剣にメモを取る 2 年生の姿が印象的でした。

10月8日（金）

ハンドブック提出。進捗状況や今後の進め方を担当教員と確認する。

本校では探究研修部手作りの、渾身の「マイプロジェクト　ハンドブック」があります。各自の「問い」「仮説」「検証方法」「調査結果」そして自分の進捗状況を記すページがあり、今回は、初めて担当教員への提出がありました。各自の調査、検証方法について自分から担当教員に相談に来る生徒もあり、深く考える生徒もあり、友人と意見交換する生徒もありました。

9月24日（金）

オンライン授業週間。自宅から２年生全員がTeams会議へ参加する。

9月21日（火）～25日（土）は本校のオンライン授業週間です。2学期が始まり、今回までに43期生は、14のゼミに別れ初顔合わせを行い、各自の「問い」を発表しゼミ内で共有したところです。本日は学校より探究研修部浅沼先生がTeams会議を開催し「検証方法」について、各自がハンドブックに記入していきました。

9月17日（金）

各ゼミに分かれた、初めての授業。自己紹介でお互いの「問い」を知る。

クラスもバラバラな生徒達が各会場に20名ずつ集まりました。若干の緊張感の中、自らの問いについて簡単に発表していきました。これからゼミの仲間と、担当教員ともどのような化学変化を起こすか、楽しみです！

7月13日（水）

１，２年生合同探究、後輩に自分達の経験を話す。

生徒が進行役も務めた合同授業を行いました。２年生が昨年度（チームプロジェクト）のプロジェクトチームを再結成し、昨年度の活動について同じプロジェクトを選択している１年生に話しました。上手くいったこと、上手くいかなかったことを含めてアドバイスを先輩から後輩に伝え、生徒同士で探究活動を継承していくのが目的です。２年生の代表チームが、昨年度末に実際に行った成果発表を１年生に披露した上で、１年生・２年生混合のチームになって、和やかな雰囲気のなかで話し合いが進んでいました。動画を見せるグループもありました。

２年生は自分の体験を後輩へアウトプットすることで、自分の振り返りにもなる貴重な時間となりました。

探究部よりアツいレクチャー

後輩に動画を見せました

後輩に経験談を話します

6月25日（金）

『問い』を決定する。

いよいよ今年度の「問い」を決定する時期となりました。
提出は１学期考査後です。

6月4日（金）

仮の『問い』に対して、まだまだ質問を浴びせる時間。

「仮の問い」への質問はまだまだ続きます。教育実習生からも、担当教員からも、通りがかりの教員からも、仲間からもです。よく情報収集した上で授業に臨む生徒が増えてきています。一方苦しむ生徒も多くいます。対話をとおして、自分の中の「問い」が少しずつはっきりしてきました。

また担当教員からは「主観と客観」について話がありました。自分の考えを裏付ける確かなデータがあるか、論文は書かれているか？時間をかけてでも、自分の考えを確かめることが必要とされています。「自分の物差しを持つ」ことも求められています。例えば「流行」は何の物差しで測ればよいのでしょうか。売上高？再生回数？雑誌掲載回数？あるいは口コミ？

5月21日（金）

仮の『問い』に対して、多くの質問を浴びせる時間。

まずはお試しの「仮の問い」に対して、グループ内で各自の「問い」用紙を回覧し、そこに他の生徒が多くの質問を付箋で入れていきました。しっかりと情報収集して臨んだ生徒、改めて自己と向き合う時間となった生徒、進度は様々でした。ここから自らの問いに深く向き合っていきます。

4月23日（金）

オリエンテーション

MicrosoftTeams を活用して、各クラスで担当教員によるオリエンテーションを受けました。（今年度のスケジュール、クリティカルシンキング、「問い」の立て方などについて）各自の「問い」を探す時間が始まります！

昨年度１年間で身に付けた探究の手法を生かし、43 期生はいよいよ「自己とつなげる『マイプロジェクト』」に取り組みはじめました。自らの興味に基づいて課題を見つけ出し、探究活動を進めていきます。今年度も多種多様な「問い」が生まれることと思います。教員も伴走します！

探究研修部　浅沼　善宣

探究・研修部一同